

# 木製シャッターに人気

## ジェイスタイル・ガレージ 防火設備認定の木製シャッターも



日本初の防火設備認定木製シャッター「ウッディ」も。北海道立林産試験場の協力で燃焼試験などを経て、板材を垂直に使い、頻りに作動させるガレージ特有の性質は木材の水切りを良くし、製品を長持ちさせる。木製建具やシャッターを製作する日本ドアカーパーション（北海道、高柳春幸社長）が加工した製品を同社が販売、施工も請け負う。

ジェイスタイル・ガレージ（東京都、渡邊弘之社長）が販売する木製ガレージが、一般ユーザーの間で人気を集めている。同社は木製ガレージ販売の老舗。渡邊社長は「木の外壁の雰囲気を楽しみたい」とし、ユーザーの志向に合わせた木製ガレージでニーズを獲得している。

同社が販売する人気製品は「ウッディ」と「ジェイスタイル」の2種。ウッディは最大幅5400×最大高2500まで寸法を指定して製作。30mm厚のSPFムク板材を使用した美しい木目が特徴で、板材を垂直に使い、頻りに作動させるガレージ特有の性質は木材の水切りを良くし、製品を長持ちさせる。木製建具やシャッターを製作する日本ドアカーパーション（北海道、高柳春幸社長）が加工した製品を同社が販売、施工も請け負う。

アイカ工業（愛知県、渡辺修社長）は、開発で生まれたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。デユポン コーリアは、1965年に米デユポン社の研究、開発で生み出されたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。デユポン コーリアは、1965年に米デユポン社の研究、開発で生み出されたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。

## デユポン コーリアン 発売

アイカ工業

## 商業・公共施設への販売に照準

器や宿泊施設・医療福祉施設・交通施設など

アイカ工業（愛知県、渡辺修社長）は、開発で生み出されたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。デユポン コーリアは、1965年に米デユポン社の研究、開発で生み出されたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。

デユポン コーリアは、1965年に米デユポン社の研究、開発で生み出されたメタクリル樹脂強化無機材で、全世界130カ国で使用されている人工大理石の信頼のブランド。

同社は、取り扱い開始から1年たち、店舗や賃貸物件等々着実に出荷を伸ばしている。さらなる需要開拓のなかで、手ごろな量の試供品を求め、声を多く聞かれたため、セット商品を発売した。同社の施工は、接着剤や釘で留めつけず、下地に置くだけ。そのため、既存の床の上に重ね置きし、試し使用が容易にできる。特に、子供部屋やダイニングテーブル

の各種カウンターやテーブル、家具や雑貨の材料としても広く一般的に使われている素材。豊富な色柄と優れた加工性・表面物性を活かすことから、建築家やデザイナーに自由な発想を実現できるとして評価されている。同社では住宅市場は10億円の販売を目標としている。

もちろん、非住宅市場にも強い販売力を持つため、商業施設・公共施設などの採用に力を入れる。また、カウンター材として現状ラインアップされているメラミンポストフォームカウンター、ムク樹脂とメラミンの複合カウンターに今回の人工大理石デユポン コーリアンが追加されることで、建築市場において「カウンターといえばアイカ」という企業イメージのさらなる定着を図る。初年度は10億円の販売を目標としている。

ラミネートフローリング  
お試しセット販売  
マデラ

マデラ（東京都、足立雅一社長）は、輸入販売を手掛けるイタリア・パット社のラミネートフローリングについて、手ごろなお試

鹿沼商工会議所が平成19年度から取り組んでいる木工品の新商品開発事業から、「NEWKANUMA」シリーズが誕生した。事業の中心となった星野工業（鹿沼市、星野昭夫社長）が、東京ビッグサイトで開催された展示会で初披露し、関心を集めた。

## 鹿沼の木工に新ブランド 「NEWKANUMA」シリーズ

同シリーズは、コート掛 鹿沼に伝承される組子の技術で作られている。プロのデザイナーによるデザインからスタートした。地元の木工品製造業者4社が集まり、デザイナーに商品デザインを依頼。約1200万円の事業費を投じ、2年かけて開発された。

商品が完成した今年、鹿沼商工会議所では東京ビッグサイトで開かれる展示会